

金 亞麗

JIN Yali



when you left me

リトグラフ、いづみ紙

## when you left me

リトグラフで、音楽を聴く時自分の精神世界を記録する

私は、音楽を聴く時間を大切にしている。中学から他の都市へ一人で通学するようになって、イヤホンは欠かせない必需品となった。歌詞の言語が違ってても、目を閉じて音楽の世界に入った瞬間、人々の精神世界と繋がるような気がする。音楽は人類の第二の言語であり、言葉にはできない方法で私たちの心を温める「癒しの力」である。

音楽は人に生理的な影響を与えるだけでなく、精神的にも影響も与える。以前、私は猫を飼っていた。しかし、病気で亡くなってしまった。この猫を偲んで手紙を書き、その中で彼を「angel」と呼んだ。その時から「angel」という言葉が出てくる歌詞の音楽を聴くと、いつも亡くなった猫のことを思い出し、私の脳裏に悲しみが浮かび上がる。歌詞やメロディーは、さまざまな記憶を呼び起こす。

こんな精神世界をリトグラフで記録するのは、クレイジーで楽しいことだと思う。アルミ版にダーマトグラフが残すザラザラした跡は、画材とエスプリを組み合わせたものである。アルミ版に手描きしたタッチは、私の心を表現しやすくしていると思う。その為、リトグラフを通してこの感情記録するのはどうだろうかと考えた。

音楽を聴くとき、私の脳内には、色ざあ々な魚が泳いでいるように思考や感情が溢れている。その時に思い浮かんだアイデアや気持ちを単語として記録しておき、その後、これらの単語に基づいて円形や線の創作を行う。リトグラフの技法で自分の精神世界を表現するには、ダーマトグラフの痕跡や線と面の組み合わせは、どうすればいいのか、と考えていた。この過程は私を落ち着かせて、新たな創作の方向を与えてくれる。何の制約もなく、自分の神秘的な精神世界を自由に描くことができる。音楽を聴くと、誰もが主観的で、複雑な内面世界を持つ。このユニークな内面世界は、特別な存在だと思う。

芸術の展開や創造は、自由的なものである。自分の精神世界は、参照に基づかず、自由とファンタジーの産物だと考える。